

※基本的に今回の読書会では、ランダムにそれぞれの方が興味をもったテーマについて  
5 の意見や感想を述べていただき、別の方がさらに応答する形で進められればと思っ  
ています。以下はその際参照できるようなキーワード一覧表的な意味のメモです。

1 「家族」を読み解くために

・晩婚化・未婚化 → 少子化 ※「子どもをもつなら結婚するのが当然」

10 ・「家族」と制度との関係 介護・夫婦別姓・年金制度・寡婦控除

(日本の家族の変化) 世帯構成(親族世帯・核家族・単独世帯)

ライフイベント(一見すると変化なし、実態は大きく変化)

価値観(家族が一番大切と思う人の増加)

(社会の編成原理) 公的領域(男)・私的領域(女) ← 「性別役割分業」論

15 (コロナと「家族」) 結婚と出産の減少、家族以外の「親密な他者」との接触減少

(家族社会学の研究動向) 「家」および親族組織に関する制度的・理論的研究

集団論的アプローチ→個人から見た「家族」

家制度←比較→核家族(理想化)←弱まり

(重視する視点)①国際的・歴史的「比較」、

20 ②ジェンダー、

③地域や社会階層による多様性、

④政治性・イデオロギー性、

⑤制度との関連、

⑥理論と実証のバランスを考慮した記述

2 「近代家族」の成立(日本家族の歴史的な歩み)

ロマンティックラブイデオロギー

? 家族は歴史的に変化するものなのか 近代家族論(核家族・RLI・性別分業)

地域性(世界・国内)

? 家族に影響を与える社会状況とは 家族の関係性の制度化、残された不平等

30 産業構造の変化(第三次産業)、人口変動

3 家族・貧困・福祉(「家族」と貧困)

? 貧困状態にあるのはどのような家族形態の人々なのか

? 家族と福祉の関係 (労働との関係は、5)

「性別役割分業型」の近代家族モデルにより設計された社会制度のズレ  
母子家庭、福祉レージム類型(自由主義・社会民主主義・保守主義[男性稼ぎ主型])  
「社会的包摂」←・→社会的排除 ヤングケアラー

5 4 結婚(マクロな観点からの結婚の機能、制度としての結婚や離婚、衰退か適応か)  
? 「結婚」の機能は何か

? 近代化によって結婚がどう変化したか(法や制度、未婚化・離婚の増加の要因・社会的対応、パートナーシップの多様化)

10 5 就業と家族(日本における働き方がジェンダーによって規定されている現状)  
少子高齢化・労働力不足 高齢者・移民 女性労働者の活用 ワークライフバランス  
? 日本で女性が仕事を続けるにあたっての社会的な障壁は何なのか

有償労働での男女格差、無償労働の家族内分担のあり方、  
感情労働(客室乗務員、看護師・介護士) コロナ禍の影響

15 6 妊娠・出産・子育て(科学技術の発達による性と生殖の関係、初期の親子関係)  
避妊・中絶(少子化)

性 ↑ ⇒RLI(なぜ子どもを持つのか) ↑ 生殖

生殖補助技術(親とは、子とは誰か) 養子・里子

20 7 親-成人子関係のゆくえ(中後期の親子関係)  
理論的枠組み・社会環境の変化(介護・男性稼ぎ主)、同居・相続・援助  
少子高齢化(福祉ニーズの増加)・経済のグローバル化の影響(公的福祉の削減)  
→家族援助の必要性の増大(ただし性別役割分業型の家族資源の減少)

25 8 個人・家族・親密性のゆくえ(親密性・親密圏、世界家族、LGBT)

? 個人や家族を社会制度によってどのように支えたらよいか

「親密性」「親密圏」概念の有効性、「国民」・国際化・世界家族、LGBT

? 多様な「家族」や多様な親密関係をもつ1人ひとりを社会のなかで公平に包摂する  
誰もが人間として尊重される豊かな人生を送る

30 ために個人や「家族」を支える制度や政策(3つの選択肢)

①同性婚の許容、

②国家保護の対象を婚姻関係ではなく親子等のケア関係に変更、

③国家承認(関与)の最小限化